

福岡県 商工会ニュース

太宰府市

= 郷土の歴史 楽しく学ぼう = 「まほろば探検隊」出動!



商工会青年部が子どもの育成支援

太宰府市商工会青年部の青少年育成支援事業「われら! まほろば探検隊2009」は、十一月八日にあった。子どもたちには元の歴史や文化や社会のことも知ってもらおうと毎年続けているもので、今年は四回目。市内七小学校から四年生四十二人を招いた。

歌あり、ダンスありのミューズカル風の開会式から始まり、魔法学校の校長やクイズマン、どくろのガイドなど、青年部の部員たちさまざまなふん装を

し、子どもたちを楽しませながら、クイズ形式で探検、探訪して行った。今年は、市長室や市議会議場、国立九州博物館、戒壇院、太宰府館を探検した。

博物館では特別にバックヤードに入れてもらい、文化財の修復作業などを見学。戒壇院では座禅を体験、太宰府館では勾玉づくりや梅ヶ枝餅づくりに挑戦した。記念にロバのプラントナー七個にスイートピーの種を植え、市役所前に設置した。和気あいあい、笑いつぱいの楽しい探検ツアーとなった。

永盛大介青年部長は「自分たちが地元のことを知らな過ぎていたので企画した。太宰府の歴史と郷土愛を学校とは違う方法で学んでもらおうと、毎年苦勞もするが、好評です」と話している。

本格的なエコ時代が始まる中、排ガスを小さく、騒音もない、地球に優しい電動バイクを前原市の明和製作所が生野岳志社長(47)が真IIが十月から売り出し、出展した福岡モーターショーでも話題となった。

同社は三菱電機モーターの製造販売会社として、独自の技術のモーターを全国的に提供。品質に特化すると同時に、自社技術を生かす新しい分野として電動バイクに着目。熊本県のベンチ

生野社長は「春には自社モーター搭載バイクを売り出す」と語っている。

ヤー企業・オーシャンエナジーテクニカ(横山高明社長)と提携し、北部九州での販売を始めた。一般的な原付スクータータイプ(二十四万五千円)

一回の充電で四十〜五十キロ走る。電気代三十円。バッテリーはシリコン電液液使用で、毒性ガス発生はほとんどなく、三百五十回以上のフル充電が可能。充電は家庭用コンセントで、バッテリーが空っぽの場合で八時間。一晩でOKという。



福招く! 「電飾 追い出し猫」

宮若市の大門松と並ぶようにして前年から始まった「電飾 追い出し猫」が、平成二十二年度の新しい年を祝

と女性などが手軽に使える買い物用タイプ(十九万八千円)、荷物の配達など業務用タイプ(二十九万八千円)の三種類を販売。色は四色から五色。一回の充電で四十〜五十

「大門松」と並び大好評 宮若市

宮若市の大門松と並ぶようにして前年から始まった「電飾 追い出し猫」が、平成二十二年度の新しい年を祝うように登場し、「福を呼ぶ」縁起物として、人気を集めている。一月十五日まで。場所は農産物ドリームホ

追い出し猫は高さ五・四尺。電飾で飾られ、ライトアップされた大門松と合せて、訪れる人たちの目を楽しませている。一月十七日にどんと焼きされる。